

H29年 6月23日 第8区座談会(要旨) 参加者18名

番号	担当課	意見・質問・要望等	町の考え方	その後の状況
1	教育課長	■タブレット型のパソコンを導入されるとのことですが、都城では実用的でなかったとのこと。三股ではそういった対策をきちんとしているのか伺いたい。	■無線LAN等を使ったシステムを考えて、業者さんとも打ち合わせしながら、実用できるということで事業をすすめています。	タブレット型のパソコン(TPC)については、無線による通信環境の整備や、運用サポートの強化を考慮しながら計画的に導入をすすめ、教師用のTPCを中心に160台を配備した。現在は、授業での活用を進め、TPCの画面を教室の大型TV画面に無線で写すなど、積極的に取り組んでいる。
2	都市整備課長	■稗田の団地に空室があるとのことですが、その辺を考慮してどの程度需要が見込まれているのかをお伺いしたい。最近若い人達があちこち家を建てていて、あまり需要が見込めないのではないのでしょうか。	■五本松住宅に住んでいらっしゃる方の受け入れのために空けています。今作っている東原団地については、五本松・射場前・射場前第2住宅の元住人を受け入れ、埋まらなかった場合は公募を募る予定です。その後、既存の住宅の改善を図っていくという計画にしております。ニーズとして、今の若い方はシャワーが付いていないと嫌られるので、そのように改善を図っていきたくと考えております。	本年度より、移転者の希望を聞いて移転を行っていく。
3	町長	■みんなで作るまちを目指してという回覧が、28年度のものより日付だけ変えてあり全く同じ内容のものでした。みんなで作る町というのは、文部省が言っている地域づくりにあたるので、教育委員会が中心になって地域づくりを考えるべきではないでしょうか。また、地区の集まり等に町長や副町長が参加できないのなら、誰か町から参加してもらえれば地域づくりに繋がると思います。あと、こういう会合でた課題に回答が無いように思います。三股の学力テストが平均以下だと聞きました。地域全体で協力して盛り上げていくのが地域づくりではないでしょうか。	■色々な集まりには私が副町長が出るようにしています。しかし、掛け持ちで顔を出すのでずっとお付き合いできないことはご理解いただきたいです。それと、様々なご意見に対する対応ですが、どういう意見が出て、どう回答し、現在どうなっているといったことをホームページで報告しています。公民館長さんにも同じ内容の様式をお渡ししています。要望は聞き、それに答えられるような努力はしております。また、学力向上についてですが、放課後児童クラブに力を入れていこうと取り組んでいます。去年から開始している宮村小・梶山小・長田小、今年から三股西小の4つの学校で始めました。そして去年まで三か年の研究授業がありました。その中で先生たちの意識共有をし、しっかりと学習環境を作り、家庭・地域など皆様の意識を高めていって学校を応援していただく環境づくりに取り組んでいます。	
4	教育長	■町内の校長・教頭は何人三股で生活しているのかお伺いしたい。	■県教育委員会のほうで居住地についての指導はしていませんので、勤務地に住まなければならないということはありません。	
5	都市整備課長	■公園等環境整備協働事業に取り組む団体を募集しますとありますが、その他の公園についてはどうしているのかお伺いしたい。以前はザツとされていましたが、今回はとても丁寧に作業されていて、遊具等もきれいにしてくれていて、つつじも剪定されているので、どこがされているのかお伺いしたい。	■その他の公園についてですが、面積の5千平米以下のところはシルバー人材センターに委託し、月に2回程度草刈をお願いしています。大きい所については町の直営ということで月に2回草刈を行っています。今回からシルバーをお願いしているところもあります。つつじについては、経費が結構かかるので数年に1度大きくなったら剪定をお願いしていて、今年はお願いました。	
6	企画商工課長	■五本松団地の跡地はどのようにするつもりなのかお伺いしたい。	■利便性が高い場所であり、色々な案を検討していますが、まだ跡地にはなっていませんので、まずは今住んでいらっしゃる方々の生活を一番に考え、時期が来たら皆様とお話しさせていただきます。	現在は、庁内の作業部会で協議を進めていますが、今後は南九大、高専、金融機関など外部有識者による審議会等で協議する予定です。
7	都市整備課長・町長	■五本松団地に住んでいる方が、家賃が上がるところに簡単に移るでしょうか。高齢者が多く、年金暮らしで、働いている方も少ないでしょう。	■アンケートを取りまして、40戸の方が東原団地に移りたいという結果をいただいています。緩和処置としまして、5年かけて金額を上げていくという激減緩和処置をとらせていただきます。その他の方については、今空いている所に移っていただくという形で考えております。(都市整備課長) ■今ありましたように、40戸の方たちは東原団地へ、その他の方たちは政策空き家として住宅を確保していますので料金はさほど上げずにそちらに移ってもらいます。そういう形で、できるだけ皆様の協力を得られる方策をとっています。(町長)	
8	総務課長・町長	■行政委員とは、教育委員とか農業委員とか選挙管理委員のことを言うのでしょうか。また、そういった委員は町長が任命するのですか。その委員はちゃんと動いているのでしょうか。もし動いていないなら誰が指導するのでしょうか。町長が出来ないなら、各課の職員が指導するにも、委員の人が偉そうにしている肩書きを悪用していることもあるのではないですか。	■行政委員会のことでしょうか。行政委員会とは、教育委員会・農業委員会・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員など役場の中でも何々委員会という部局があります。最終的には町長が任命ということになりますが、その委員ごとで議会の同意がいたり、議会の中で選挙をしたりしています。そういう承認を受けた時、最終的に町長が辞令を出すという形です。(総務課長) ■行政委員会というのは、もちろんこちらで推薦し、議会の同意を得て任命しますが、行政委員会は独立した機関です。ですから町長がどうのこうのとは言えません。こちらが口を出すのは越権行為にあたります。そういう意味合いで、指導というのはその委員会の中で、こういうお話がありましたと事務局である各課を通じて議論していただくのが筋でございます。(町長)	
9	総務課長	■最近、高齢者の事故というのが非常に増えています。高齢者の免許返納に対して三股町では何かあるのでしょうか。ないのなら今後何か考えているのかお伺いしたい。	■まず宮崎県警で受けられるサービスとしては、宮崎交通の定期券の割引が受けられます。あと信用金庫が定期預金の利率の上乗せがあります。都城管内ではタクシーの割引制度があります。牟田町で割引されるお店が2件ほどあります。三股独自のものは今のところありませんが、くいまーるの利用を推進しています。	くいまーるの利便性の向上として、榎田地区を追加した。
10	町長・農業振興課長	■法改正で農業委員の選任が、認定農家などを選ぶようになり、首長が任命するようです。その中で山王原・東原・稗田には認定農家がいないので地域性を考えていただきたい。	■農業委員は今まで各団体より選出されて14名でしたが、今回6名になりました。しかし6名で全体を見るのは大変ですので、その下に農地利用最適化推進委員というのが10名いらっしゃいます。選任は私が関与するのではなく、農業振興課、農業委員会で選考委員会を作り、地域性を配慮し、現在6名選考し議会の同意を得られたところです。ただ、今年の7月20日から新しい農業委員会制度がスタートしますので、今度はこの6名が農地利用適正化推進委員の10名を、認定農家だけでなく地域性なども考慮して選考します。(町長) ■町長からもありましたが、7月20日から新しい農業委員会のスタートとなりました。農地利用最適化推進委員の方の役割は、三股町を6ブロックに分け、その地域の実情に詳しい方々を最適化推進委員に選出させていただきました。確かに農業委員6名については定数の過半数以上が認定農家であるということがありますが、地域の実情に詳しい最適化推進委員さんと農地を動かしていくこととなりますので、総勢16名でやっていくということです。(農業振興課長)	H29.7.20農業委員の任命及び農地利用最適化推進委員を委嘱した。当地区を担当する農業委員1名、最適化推進委員2名は地元の農業事情に精通する人材である。(農業振興課)